

北海道大学シラバス

<p>■ ■ 科目名</p> <p>実験社会科学入門</p>					
<p>■ ■ 講義題目</p>					
<p>■ ■ 責任教員（所属）</p> <p>大沼 進(大学院文学研究科)</p>					
<p>■ ■ 担当教員（所属）</p> <p>大沼 進(大学院文学研究科) 村田 明日香(社会科学実験研究センター)</p>					
■ ■ 科目種別	大学院共通授業科目			■ ■ 他学部履修等の可否	可
■ ■ 開講年度	2016	■ ■ 期間	1 学期（春ターム）	■ ■ 時間割番号	101122
■ ■ 授業形態	講義	■ ■ 単位数	2	■ ■ 対象年次	～
■ ■ 対象学科・クラス				■ ■ 補足事項	
■ ■ ナンバリングコード	IGS_IDS 5070				
■ ■ 大分類コード	■ ■ 大分類名称				
IGS_IDS	大学院共通授業科目（複合領域）				
■ ■ レベルコード	■ ■ レベル				
5	大学院（修士・専門職）専門科目（基礎的な内容の科目）、大学院共通授業科目				
■ ■ 中分類コード	■ ■ 中分類名称				
0	複合科学				
■ ■ 小分類コード	■ ■ 小分類名称				
7	その他				
■ ■ 言語コード	■ ■ 言語				
0	日本語で行う授業				

■ ■ キーワード

人間を対象とする行動・認知実験、方法論

■ ■ 授業の目標

社会科学の研究では、実験を通じて、ある制度や人間性に関する理論モデルの妥当性を評価し、そしてその結果をもとにさらにそのモデルを洗練していく過程が極めて重要である。本授業科目では、社会科学の実験法に関する入門書、実証実験をもとにした研究論文、および体験実験を通じ、社会科学実験の意義についてわかりやすく解説し、社会科学において実験が果たす役割について討論する。

## ■ 到達目標

社会科学の研究における実験の必要性についての一般的認識を得る  
社会科学実験の計画法について学ぶ

## ■ 授業計画

- ・社会科学の実験法に関する入門書を用い、実験の重要性に関して講義する。
- ・代表的な研究論文をいくつか取り上げて、それを講読し、そこにおける実験の意義について討論する
- ・実際に社会科学実験を体験する

## ■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

次週の学習に必要な準備、小課題等を課す

## ■ 成績評価の基準と方法

授業への参加および1～2回の発表によって評価する

## ■ テキスト・教科書

社会科学の実験アプローチ / 河野勝・河野勝: 勁草書房  
実験が切り開く21世紀の社会科学 / 西條辰義・清水和巳: 勁草書房  
参考書や参考文献は、講義の中で適宜紹介する

## ■ 講義指定図書

## ■ 参照ホームページ

<http://lynx.let.hokudai.ac.jp/cerss/>

## ■ 研究室のホームページ

<http://lynx.let.hokudai.ac.jp/cerss/>  
<https://sites.google.com/site/asukamuratahome/>  
<http://lynx.let.hokudai.ac.jp/~numazemi/>

## ■ 備考

## ■ 更新日時

2016/01/28 13:36:41